

連携大学院について

当院では、診療業務に従事しながら、臨床に即した研究を進め、三重大学大学院の医学博士号を取得する医師の養成機関として、三重大学との連携大学院を開設しております。

現在、消化器科の笠井智佳医師が連携大学院生として、診療業務を行うと同時に下記の項目に関して、臨床研究を行っております。

つきましては、患者の皆様にご協力をお願いする場合がありますので、よろしくお願い致します。

・ヘリコバクターピロリ感染性消化性潰瘍における除菌と消化管ホルモン及び体重変動について

ヘリコバクターピロリ菌除菌により、一部の患者様で体重が増加することが報告されております。

ピロリ菌除菌後の体重増加に関し、胃から分泌される消化管ホルモン等が関与している可能性があります。詳細な検討はまだ十分なされていません。

消化管ホルモンの変動によりピロリ菌除菌後の体重増加が、糖尿病や高血圧症などの生活習慣病を来す可能性を解明したいと考えています。

・大腸癌、大腸腺腫と腸内細菌の関係性について

腸内には多数の細菌が存在しますが、各個人により構成が異なります。

糞便により腸内細菌の遺伝子を抽出し、構成を解析します。

これらの研究により、病気の診断、治療効果の予後に関する糞便中のマーカーを発見し、臨床に応用する予定です。